



行進する集会参加者

賃金大幅引き上げ 第90回 消費税10%ストップ 9条改憲ノー メーデー



中央 豊かな建設をめざす 島原副委員長が決意表明

5月1日、代々木公園で第90回中央メーデーが同実行委員会主催で開催されました。10連休のなか皇室行事と重なる日程でしたが、2万8000人(東京土建1545人の仲間が集まりました。小田川義和国民春闘共闘委員会代表幹事は主催者あいさつのなかで、大企業の内部留保は88兆円から42.5兆円へ

と5倍化したのに民間企業の労働者の平均賃金は455万円から432万円に減少している平成の30年間を振り返り、「経済成長しても労働者には回さない。むしろ取り上げている。これが日本の30年間の収支」と訴えました。東京土建を代表して島原孝本部副委員長は、建設労働者の賃金引上げ・処遇改善、外

国人労働者問題、消費税増税反対の3つのテーマで報告を行ない、「東京土建は多くの皆さんと共闘し、豊かな建設産業を目指し、全力を挙げます」と決意表明しました。式典終了後、東京土建の参加者は建設労働者の要求を沿道の人々にデコレーションなどでアピールしながら外苑前までデモ行進しました。



代々木公園に2万8000人の働く仲間たちが集結した



当面する5月17日の大行動などを成功させようと参加者一同でガンバロー

多摩 石綿裁判に支援を 原告吉田さんが訴える



登壇したアスベスト訴訟原告と東京土建の参加者

「働く者の団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」をメインスローガンに第90回三多摩メーデーが5月1日、井の頭公園西園で開催されました。昨年を上回る3000人(東京土建からは872人)が参加しました。

集会の冒頭、主催者あいさつに立った芳賀三多摩労連議長は、8時間働いて普通に暮らせる社会をめざす、全国一律最賃1500円の実現、安倍9条改憲阻止、辺野古新基地建設反対、消費税10%引き上げ阻止などの要求で私たちの力を見せようと訴えました。

4月26日、東京地裁103号法廷で首都圏建設アスベスト訴訟東京2陣の第27回期日が開かれ、東京2陣は提訴から約丸5年が経ち結審も年内には予想される状況で、

この日は遺族原告の吉田さん(村山大和)をはじめ3人が証人尋問に立ち、裁判長に被害者の深刻な実態を伝えるとともに、一人親方救済、メーデー責任カー責任認定のための書面を提出しました。

アスベスト 世論喚起しよう 東京2陣27期日で行動

12時半から地裁前で、200人(東京土建は95人)が集まりの集会。開廷後、集会参加者は衆議院第一議員会館に移動し、支援集会を行ないました。原告を代表して宮島さん

(豊島)は「私は1陣で最高裁に審理の場が移っていきます。最高裁は期日がないからといって、黙っていたら裁判官に公正な判決を書かせることを進めること、5月17日に予定する集会を成功させることなどの行動提起を行ないました。また、全面解決に向けて、3陣訴訟を準備していることを報告しました。

終了後、参加者は依然として賛同していない国会議員を訪ねて要請しました。

「頑張ってください」と行動参加者に声をかける者と、昨年11月に同現場で宣伝行動を行なった時とは明らかに違った反応がありました。

現場は乱雑、酷い ホテルオークラ前で宣伝



現場前で宣伝する行動参加者

「現場が乱雑ではこりが酷く、足の踏み場もないところがある」「詰所がせまい」「自販機が少なく飲み物がすぐなくなってしまう」「工程が遅れているからか、大成の社員は何を見ても文句も言わず、無法地帯」「丸の内3-12計画現場よりの劣悪だ」等々、9月オープンに向け、工程遅延による現場環境の悪化が推測され、怒りと改善を求める声が寄せられました。

5月6日、夢の島公園内の都立第五福竜丸展示館前で2019年国民平和大行進東京1広島コース出発集会在が開催され、核兵器廃絶を願う700人の市民(東京土建は92人)が参加しました。

核廃絶訴え歩こう 平和行進に700人

本原水協代表理事は「今朝、もやろつと呼びかけたといううれしいニュースが飛び込んです。一方、日本の安倍首相は『核兵器のある国と無い国を橋渡しをす』などと

できました。来年5月にアメリカの平和団体から原水爆禁止の世界大会をニューヨークで

言いなから、核兵器禁止条約には背を向けています。私たちは核兵器廃絶の実現のために行進しました。

4月23日夕方、ホテルオークラ本館建設工事(仮称・虎ノ門2-10計画、元請・大成建設)現場前で、首都圏の組合の仲間18人(東京土建からは14人)で緊急の宣伝行動を行ないました。

この現場で4月18日に労働者が転落し重体となる深刻な

労働事故が発生。同現場の問題ある労働環境に関してはいくつかの情報が従事者から寄せられていました。

宣伝行動ではティッシュと合わせて「安全対策スパッとチェック」と書かれたアンケートを約1000枚配布しました。チラシを見つめる者、

に被害が広がっている状況が変わっていないことをあらためて共通の認識にしたうえで、2つの署名を大きくふやすこと、地方議会意見書・国会議員の賛同署名を進めること、5月17日に予定する集会を成功させることなどの